

2016年3月29日

報道関係各位

三菱地所株式会社
三菱地所レジデンス株式会社

国産材を使用した部屋の中の“小屋”「箱の間」^{はこ}^まを発表

～多様なライフスタイルや家族構成の経年変化に対応した柔軟な空間づくりを実現～

三菱地所株式会社と三菱地所レジデンス株式会社は、本年3月25日に国産木材を活用した建築と家具の間の商品「箱の間」を発表しました。

「箱の間」は、「部屋の中の“小屋”」を意識して生まれた商品で、リビング等に設置することにより仕切ったり囲んだりの間取りに変化を持たせ、住まいに新しい居場所をつくることができます。「家具」よりも大きく「部屋」よりも小さいサイズであるため、住まいの中で移動することが容易で、暮らしに合わせた柔軟な空間づくりが可能になります。この柔軟性により、様々なライフスタイルに対応するとともに、家族構成の変化など、ライフステージに合わせた間取りニーズに対応します。



▲「箱の間」使用イメージ

3月25日の当商品発表日には、丸の内エリアで新たなビジネスの創出を目指すサードプレイスとして2月16日に開所した「3×3 Lab Future(サンサンラボフューチャー)」にて、トークセッションを実施。耕作放棄地・森林資源等の農村資源の活用に関する事業に長く携わるNPO法人えがおつなげて代表の曾根原久司氏をゲストに、わが国の木材活用の現状や民間企業の取り組みに関するパネルトークを行った後、国産材使用の社会的ニーズを受けて誕生した「箱の間」を発表しました。なお、2016年度中に一般のユーザー様に向けて、販売開始を予定しています。



▲3月25日 トークセッションの様子

<「箱の間」の特徴>

- ・ 「家具」よりも大きく「部屋」よりも小さな、およそ畳1畳程度のサイズとすることにより、柔軟な空間づくりを実現。
- ・ 仕切る、籠る、集まる、集中する、リラックスするといった様々な使い方、過ごし方を提案。
- ・ 家族構成の経年変化によるライフスタイルにも対応する、間取りの可変性を実現。
- ・ 国産材（山梨県産の杉）を全面的に採用。

三菱地所グループでは、CSR活動を通じて都市と農山村の連携を山梨県を中心に取り組んできましたが、今後も、森林をテーマに新たなつながりを生み出し、国産材使用の社会要請と、住まいに居心地の良い木質空間の提供を両立していきます。

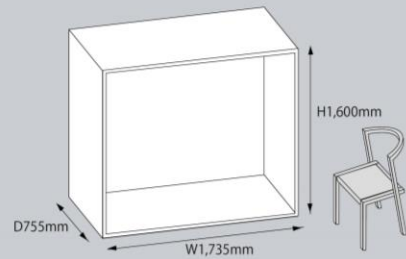
■ 「箱の間」の概要と使用イメージ

住まいの中で、使いやすいサイズを考えました。

大人が中に入っても心地よい広さを追求しながら、
部屋の中にうまくおさまるボリュームや移動のしやすさに配慮した「箱の間」。
大きすぎず、小さすぎない、ちょうどいいサイズを見つけました。

暮らしに合わせたバリエーション。

付属品の全く無い箱のみのプランに加え、テーブルや収納スペース、
ベンチや収納棚などの付属品を組み合わせた3つのプランをご用意しました。



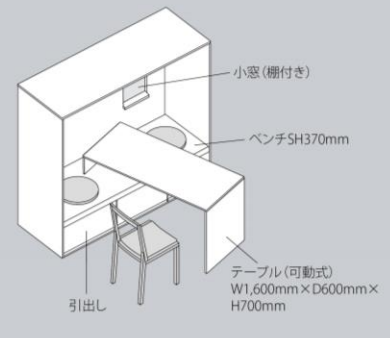
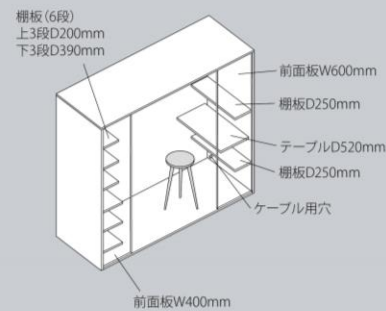
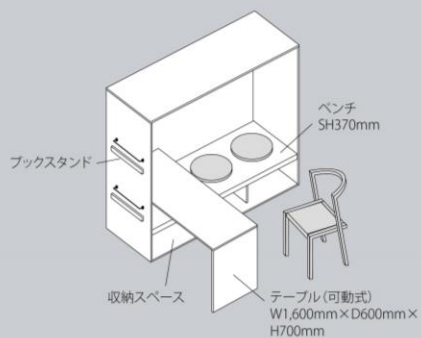
PLAN-A



PLAN-B



PLAN-C

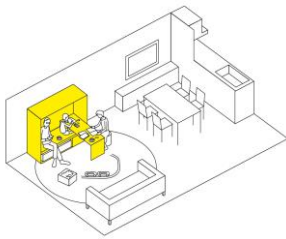


▲ 「箱の間」使用イメージ

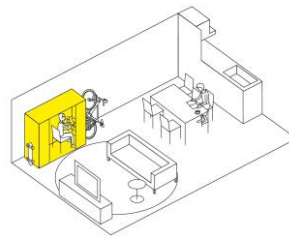


▲ 「箱の間」使用イメージ

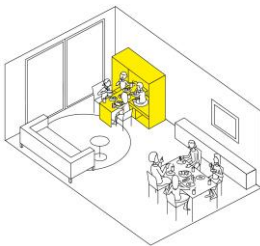
■「箱の間」設置想定事例



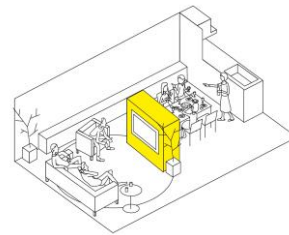
子どもが小さいうちは、勉強部屋、遊び場、収納などをリビングの一角に”出張”して設置。



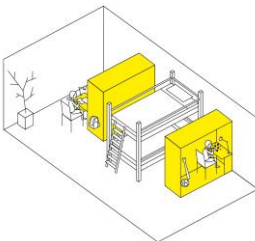
趣味の道具箱や工房として使用。



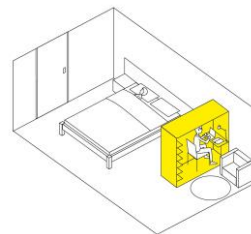
大人用のダイニングテーブルと別に、「箱の間」を子どもたち用のダイニングテーブルとして設置。



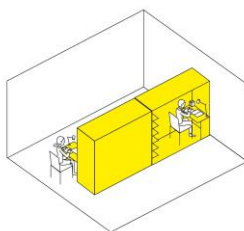
背面を壁として活用。



2人の子どもの子ども部屋に2つの箱をレイアウトすることで、半個室の空間を2人でシェア。



寝室の中にパーテーション代わりに設置することで、就寝中のパートナーを起こすことなく、書斎として利用。



2人の子どもが大きくなったら、2つの「箱の間」を大きなパーテーションとして利用。2つの個室が出現。

■企画メンバー

三菱地所(株)：三菱地所グループの森林 CSV 推進事務局

三菱地所レジデンス(株)：「箱の間」の企画

小泉誠：デザイン

KOKUYO：商品企画

FOREST LINK (NPO 法人)：商品企画

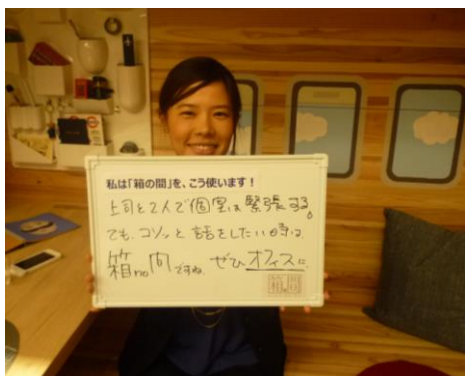
日本ペイント「ROOMBLOOM」：ペイント(DIY)の企画・協力

三菱地所ホーム(株)：インテリアの企画・協力

■3月25日の当商品発表イベントの様子



イベント参加者に、「箱の間」をどう使いたいか考えていただきました。



「上司と2人で個室は緊張する。でもソソと話をしたい時は、箱の間ですね。ぜひオフィスに。」



「プラモデルの間」



「ひとりで聴きたい音楽のリスニングコーナーとして」



「ここが俺の城（部屋）だ!!」



「じぶん基地。ここからネットで世界につながりたい!!」



「休日の夕飯のメニューを妄想する。料理本とクックパッドに集中。」

(参考)

■三菱地所グループによる FSC 認証木材・国産木材（山梨県産木材）利用拡大に向けた主な取り組み

①2011年6月

山梨県産カラマツ間伐材・小径木による FSC 認証材 LVL 材と、山梨県認証材床根太材について標準仕様とすることを決定

<http://www.mitsubishi-home.com/wp-content/uploads/2011/06/img033.pdf>

②2011年8月

山梨県産材の利用拡大の推進に関する協定について、山梨県、三菱地所(株)、三菱地所ホーム(株)らで締結

<http://www.mitsubishi-home.com/wp-content/uploads/2011/08/img035.pdf>

③2012年12月

山梨県産材の構造用合板について COC 認証を取得したことから、FSC 認証材構造用合板として標準採用とすることを三菱地所ホーム(株)が発表

<http://www.mitsubishi-home.com/wp-content/uploads/2012/12/img052.pdf>

④2013年10月

三菱地所(株)と三菱地所ホーム(株)の「空と土 国産材高価値化プロジェクト」(国産間伐材や小径木を積極利用し、森林経済を活性化し、持続可能なビジネスモデル)の取り組みがグッドデザイン賞を受賞

https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec131001_GD_soratsuchi.pdf

⑤2015年12月

三菱地所(株)、三菱地所ホーム(株)、(株)三菱地所住宅加工センターが山梨県産 FSC 認証木材の企画コンペに当選。

注文住宅事業における、FSC 認証木材の安定的な調達ルートを構築

http://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec151211_FRC.pdf

⑥2016年1月

三菱地所レジデンス(株)が「ザ・パークハウス」2物件において、分譲マンションでは初の二重床下地合板採用における FSC 部分プロジェクト認証を申請

http://www.mec-r.com/news/2016/2016_0108.pdf